

# ききょう苑通信



発行月  
2019年4月  
第12号

発行：医療法人社団 松和会 介護老人保健施設  
「ききょう苑」(年4回発行、創刊2016年4月1日)  
〒259-1126 神奈川県伊勢原市沼目6-1237  
TEL: (0463) 92-8101 E-mail: kikyoen@showakai.or.jp

## 琉球の風が吹く！ イチャリバチョーデー いろは芸能団来苑



### 演目

- ① かぎやで風…生命の歓喜を歌ったお祝儀舞踊。
- ② 四つ竹…花笠と紅型をまとい踊る喜びを表す。
- ③ 加那ヨ…若い娘の恋心を描いた雑踊。
- ④ 上り口説…首里城から薩摩への船旅を表した二才踊り。
- ⑤ 民謡…沖縄の代表的な民謡歌。
- ⑥ 鳩間節…鳩間島の美しさと五穀豊穡を感謝する踊り。
- ⑦ 糸満乙女…漁村の女性を生き生きと表現。
- ⑧ 谷茶前…谷茶の浜で魚を捕る若者と売る娘を表す。
- ⑨ 黒島口説…八重山諸島の人々の生活を表現。
- ⑩ みんなで踊ろうカチャシー

以上の華麗な踊りや歌を披露していただきました。また、ご利用者全員のために、お弟子さんの岡村かおりさんが琉球布で織り、寒川神社のお清め塩の入った手作りの素敵なお守りと、岡村いろはさんのお手製のプログラムを頂きました。幸せなひとときをありがとうございました。

(事務部 副主任・ききょう苑通信  
編集長 鈴木 雄大)

ご利用者に、本格的な優れた芸能公演を楽しんでいただくことを目的に、3月27日に「イチャリバチョーデーいろは芸能団」の皆様に来苑していただきました。

「イチャリバチョーデーいろは芸能団 (代表・比嘉邦子先生)」は、ききょう苑での公演のために特別に結成されたグループで、「国指定重要無形文化財 琉球舞踊保存会」の太鼓伝承者の比嘉邦子先生、踊り伝承者の松田 恵先生、三線伝承者の喜名正勝先生と、そのお弟子さん4名による、伝統琉球舞踊と、よく知られている沖縄の歌などを披露していただきました。

また、踊り伝承者の松田先生は3月9日に東京国立劇場で行われた天皇陛下御在位30周年記念で、琉球舞踊を披露された方でもあります。



## 高齢者施設セミナー開催！

### 第2回 西沼目自治会

伊勢原市民の皆様には、高齢者施設の概要を理解して頂き、施設を有効に利用して頂けるよう、西沼目自治会(杉山喜男会長)の後援により、沼目児童館において、第2回高齢者施設セミナーを開催しました。

- ① 地域の高齢者施設を上手に利用しよう！  
・高齢者介護施設の概要とそれぞれの違い、利用方法などについて解説。
- ② 郷土料理とおいしく食べるポイント  
・ききょう苑で提供している郷土料理シリーズや食形態の紹介、ご家庭で食べづらさを感じているご家族に簡単にできる調理の工夫を解説。
- ③ 口腔機能・嚥下体操  
・高齢者の食事に向けた口腔の体操を実演を交えて解説。
- ④ スキンケアトラブルについて  
・高齢者のスキンケアとトラブルについての正しい基礎知識をクイズを交えて解説。

(入所事業部門 相談部 主任 後藤 佑介)

(入所事業部門 リハビリ部 主任 新倉 太一)

(施設長 小澤 明)



調理の工夫について解説



口腔体操の実演

## 夜間想定防災訓練実施



通報訓練



消火器訓練

夜間にききょう苑2階から火災が発生したという想定で、火元確認・初期消火・通報・避難誘導・消火器訓練などの防災訓練を実施しました。

ききょう苑では非常時に備えて、日頃から伊勢原消防署の協力を得て、日々訓練に励んでいます。

今後も地域の防災拠点としての在り方を考え、訓練を実施していきたいと考えています。

(防災委員 副委員長

小山内 友二)



## 介護保険を知っていますか？

前回好評であった居宅介護支援事業部門コーナーから、今回は介護保険制度について簡単に説明します。

介護保険制度は高齢者の介護を社会全体で支え合う仕組みとして2000年からスタートした制度です。では、どのような特徴があるのかを見ていきたいと思います。

①介護を必要とする人が自立した生活を送れるように、社会全体で支える仕組みです。

②介護の必要度に応じて、7段階（要支援1・2、要介護1～5）に分かれています。利用する人は、介護が必要と認定された65歳以上の高齢者と、特定の病気に該当する40歳以上の人が、サービスを受けることが出来ます。また、利用には、介護度別に支給限度額が設定されています。（図参照）

③介護サービスは原則的に、1割負担で利用することができます（収入によって2～3割）。残り9割負担のうち、40歳以上の国民が支払った保険料と、税金で折半しています。

④介護報酬は、3年ごとに見直しが行われます。

⑤介護保険の保険者は、国ではなく市町村

が保険者となっています。

⑥生命保険などの民間保険は加入の義務はありませんが、介護保険は40歳以上の国民は必ず加入しなければならぬ義務であり、拒否はできません。

⑦保険給付は、申請と審査が必要で、必要と認められないと、給付を受けることはできません。

以上、知っているような内容かもしれませんが、このような保険であることを改めて覚えておきましょう。



要介護度支給限度額	
要支援 1	50,030 円
要支援 2	104,730 円
要介護 1	166,920 円
要介護 2	196,160 円
要介護 3	269,310 円
要介護 4	308,060 円
要介護 5	360,650 円

2019年4月現在

（居宅介護支援事業部門

部門長 泉 友之）



## 2019年度の喫食！世界へ広がる

昨年度までは、各地方の「郷土料理シリーズ」をご利用者に提供して参りました。「いつも楽しみにしてます」などのご意見をいただき、大変好評を得ることができました。2019年度は、さらにご利用者に満足していただけるよう、日本を飛び越え、「世界の料理シリーズ」を提供することに決まりました。

世界の料理に関しては、知識不足であるため、現在各国の料理について、学んでいるところです。4月は中国料理、5月は韓国料理を予定しております。その後の予定も決まり次第発表いたします。今後の喫食からますます目が離せません！（入所事業部門 栄養部 主任 木我 みな美）



## ひな祭り飾り作成 レクリエーション実施



通所リハビリテーションでは、ひな祭りに合わせて雛飾りを作成するレクリエーションを実施しました。

今回のレクリエーションは、週に複数回ご利用される方もより楽しめるよう、日替わりで3種類の飾りを作成しました。

1種類目はポンポン飾り。毛糸で作ったポンポンに、お内裏様とお雛様の顔や扇などのフェルトを張り付けて作ります。小さいパーツもあるため、指先のリハビリや頭の体操にもなります。



2種類目はアイロンビーズ飾り。模様が複雑で、ポンポン飾りよりさらに細かい作業を行います、素敵なキャラクターの雛飾りが完成しました。

3種類目はつるし雛風飾り。つるし雛は江戸時代から伝統の縁起物です。ききょう苑流のつるし雛風飾りは、いろいろな色のフェルトや布、ビーズを紐に通して土台に貼り合わせて作成します。お隣同士で互いの出来栄を見せ合いながら和気あいあいと作成し、オシャレな飾りが出来上がりました。

完成したそれぞれの飾りを手に、家に飾る、孫にプレゼントする、など皆さん嬉しそうに語っていました。

今後も季節に合ったものや、手先のリハビリ、頭の体操になるようなレクリエーションを企画していきますので、お楽しみにお待ちください。

（通所事業部門

リハビリテーション部 丸田 紗緒理）

## お知らせ

### 【寄贈】

故 水野てい子様（東京都）  
「紙オムツ」  
岡村かおり様・いろは様（藤沢市）  
「琉球お守り」  
※施設で使わせて頂きます。  
ありがとうございました。

（副施設長 前田 大介）

### 【今後の予定】

2019年4月よりホームページを更  
新いたします。  
ご利用者・ご家族・地域の方々が見やすく、そしてわかりやすいホームページを作成いたします。  
ご意見、ご要望がありましたら、是非ご連絡ください。  
（事務部 副主任 広報委員長 鈴木 雄大）

## 編集後記

新元号が発表されましたね。今年はラグビーワールドカップ・来年は東京オリンピックとスポーツで日本が賑わいそうに楽しみです。私の平成は平成になった年に社会人になり、家族が5人、9人と増え、そして皆旅立ち、目まぐるしくあつという間に過ぎていきました。新しい時代はのんびり過ごせたらいいなあ。と願っております。

ききょう苑も20年目を迎えようとしています。ききょう苑通信を通じて皆様にしききょう苑をもっと知っていただける様に広報委員一同、努力してまいります。今年度もよろしくお願いたします。

（相談部 副主任・広報委員 布川 幸子）